

議案第105号

討論あり

**重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正**

公明党 | 川越志政会 | 日本共産党

**問** 今回の改正は、本制度の目的とどのように整合しているのか。

**答** 本制度は、重度心身障害者に対し医療費助成金を支給することで、福祉の増進を図ることを目的としている。今回の改正で、精神障害者保健福祉手帳2級所持者が新たに対象となる。身体障害者手帳4級所持者は、対象外とするが、埼玉県における重度心身障害者の医療費助成制度を基本とし、他市同様の水準とするもので、限られた財源の中、重度心身障害者の福祉の増進を図るための福祉サービス全体を鑑み、改正しようとするものである。

**問** 新たな事業を実施する中、障害者医療費は厳しい財政状況等により制度を縮小することだが市長の見解は。

**答** 社会情勢の変化に伴う市民ニーズの多様化や新たな行政課題に対応するため、市独自の取り組みを進めてきており、今年度も学校給食費の負担軽減、こども誰でも通園制度、帯状疱疹ワクチン接種など新たに実施してきた。

制度の見直しについては、大変悩んだ末、苦渋の決断ではあったが、県の動向や他市の実施状況、後年度における財政負担などを総合的に勘案し、市全体のバランスに配慮して判断した。

**問** 重度心身障害者医療費支給制度の変遷は。

**答** 昭和51年1月開始。昭和56年10月に身体障害者手帳4級所持者、平成27年1月に精神障害者保健福祉手帳1級所持者へ助成開始。その後、年齢制限、所得制限を開始。

**問** 今後も福祉施策を他市と同水準に見直ししていくのか。

**答** 施策の見直し等は、他市とのサービス水準等の比較が判断材料の一つとなるが、施策に関わる市民ニーズや社会・経済状況の変化、国・県の動向、市民や関係者への影響などを総合的に勘案して判断し、丁寧に進めていく。

議案第106号

**川越市における建築物に附置すべき駐車施設に関する条例の一部改正**

初雁自由政令会

**問** 増築や用途変更を行わない限り、既存建築物に影響はないとのことだが、現在進行中の建築計画への影響は。

**答** 建築物の新築等を行うには、工事着手までに一定の期間を要することから、建築計画にも影響が及び得ると考える。そのため、新たな義務となる共同住宅の荷さばき駐車施設については、条例施行後6カ月の経過措置を設け、令和8年9月30日までに工事着手した場合は、従来の基準が適用されるよう措置する。

議案第108号

**やまぶき会館の指定管理者の指定**

無会派

**問** 前回、令和2年の指定管理者の応募でも1者の応募しかなく、競争性がなかった。このような状況が続く中、委託も含め、他の方法を検討したのか。

**答** 本市では、平成18年に民間事業者の能力を活用し、多様化する住民のニーズに、より効果的、効率的に対応するため、指定管理者制度を導入している。

今回の管理運営方法についても、文化施設の特殊性も踏まえ、業務委託等、他の方法については検討することなく指定管理者制度による管理運営とした。

議案第111号

**川越運動公園の指定管理者の指定**

政策フォーラム | 日本共産党

**問** 現指定管理者である川越市施設管理公社に対する本市の評価は。

**答** 現指定管理者の管理運営は、協定書等に基づき良好に行われており、利用者からの意見・要望等に応じて改善を行ったことなどをプラス要素として評価している。

**問** 川越運動公園の今後の在り方について、市の見解は。

**答** さらに魅力を生み出し、スポーツに限らない多様な使用も必要であると考え。そのため、ネーミングライツ等の民間企業の協力による特定財源の確保等も財政負担の軽減につながるものとして検討していきたい。

**問** 総合体育館など、3施設の稼働率は99%以上で多く利用されているが、指定管理者が興行誘致などの自主事業を実施することで市民利用が制限されることはないのか。

**答** 自主事業については、運動公園の設置目的を効果的に達成するため、市の承認を受けた上で事業を行い、指定管理者のノウハウを生かした積極的な事業展開を期待している。事業の実施に当たっては、施設の利用が少ないことが見込まれる時期に実施するなど、一般の利用を妨げることのないよう指定管理者に対して求めていく。

議案第114号

**グリーンツーリズム拠点施設の指定管理者の指定**

公明党 | 無会派 | 日本共産党 | 無会派

**問** PR業務として農地維持活動への参加促進を掲げているが、どのような活動を想定しているのか。

**答** 本施設での市民農園や体験農園の利用を入り口としつつ、各家庭でのベランダ菜園のヒントや農家から農産物を直接購入する機会、さらには農地維持活動として水路の泥上げや農道・水路の草刈りなどの農地や農業生産基盤の維持活動への参加を促すことにより、川越市全体で農のある生活を広めるための多面的なPRを行っていく。